

## 新型コロナウイルス感染症について（第6報・最終報告）

新型コロナウイルスの感染者については、令和3年1月1日から5日にかけて確認され、これまで特別養護老人ホーム及び短期入所生活介護事業所の入所者・利用者の方5名と職員2名の合計7名が判明し、保健所及び関係機関の協力を得ながら、施設内での感染拡大防止や早期の収束に向け、様々な取組を実施してまいりました。

この取組により、先日（1月12日）、施設内の入所者、職員などPCR検査対象者全員（186名）の陰性を確認し、保健所と協議の上で、併設の通所介護事業所（デイサービス）を含めて、本日から通常どおりのサービス提供を再開しましたことをご報告いたします。

これまで、入所者、ご家族、関連事業所の皆様や地域の皆様方には、ご心配をおかけするとともに、多大なご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

また、入所者のご家族だけでなく、以前の利用者ご家族を含め地域の方々や周辺施設の関係者、関連事業所など多くの方々から温かいお言葉やご支援をいただき感謝申し上げます。

さらに、感染発生時から、連日感染拡大防止などご指導ご助言をいただいた福山市保健所の皆様や、衛生用品物資の提供、広島県感染症医療支援チームや県内介護施設からの応援職員の派遣などを実施していただいた福山市介護保険課、広島県地域福祉課及び派遣施設の皆様に厚くお礼申し上げます。

今後、保健所の職員をはじめ、感染症医療支援チームの医師、看護師の専門家からのご指導等をもとに、応援職員2名のご支援をいただきながら、より適切な業務推進に活かしてまいります。

現在、県内では新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策が取り組まれており、また、市内では新たな感染者が日々確認されるなど予断を許さない状況となっております。

こうした中で、当施設では、今回の経験を踏まえ、職員一丸となり感染防止に細心の注意を払いながら取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

令和3年1月20日  
社会福祉法人 安那福祉会  
サンサンホーム  
施設長 石川真治